

事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0357

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人日本スポーツ振興センター研究施設整備費補助金			担当部局	スポーツ庁		作成責任者		
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	競技スポーツ課		競技スポーツ課長 西川 由香		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) 「持続可能な国際競技力向上プラン」(令和3年12月27日ス ポーツ庁策定)				
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)が設置するスポーツ医・科学研究施設等の整備充実を図るため、センターが行うスポーツ医・科学研究施設等 の整備に要する経費に対して補助を行う。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)が設置するスポーツ医・科学研究施設等の整備に必要な経費について補助を行う。 <補助率:定額>								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の状 況	当初予算	35	-	-	-	50		
		補正予算	300	1,780	1,541	-			
		前年度から繰越し	-	335	1,600	1,979			
		翌年度へ繰越し	▲ 335	▲ 1,600	▲ 1,979	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	0	515	1,162	1,979	50			
	執行額	0	472	1,162					
執行率 (%)	-	92%	100%						
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)	-	27%	75%						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	独立行政法人日本スポーツ 振興センター研究施設整備 費補助金	-	50						
	計	-	50						
活動内容 (アクティビ ティ)	JSCが行うスポーツ医・科学研究施設の整備(老朽化が著しい施設等の耐震改修工事等)に要する経費に対して補助を行い、もってスポーツ医・ 科学研究の推進に資すること。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	トップアスリートをはじめと する施設利用者の安全確 保及び安定的な利用に資 すること。	施設整備件数	活動実績	件	-	3	1	-	-
			当初見込み	件	1	3	1	1	1
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	独立行政法人日本スポーツ振興センター研究施設整備 執行額(百万)/施設整備件数	単位当たり コスト	百万円	-	157	1,162	1,979		
		計算式	百万円/件	-	472/3	1162/1	1979/1		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度
	外部有識者により組織する ハイパフォーマンススポー ツセンター業績評価委員会 による評価結果のうち、標 準評価以上の評価を受けた 項目の割合とする。	標準評価(B評価)以上の評 価を受けた項目の割合 ※前年度実績は、6月末頃 (業務実績の確定後)に記 載予定	成果実績	%	100	100	100	-	
			目標値	%	100	100	100	-	100
			達成度	%	100	100	100	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	独立行政法人日本スポーツ振興センター業務実績報告書								

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度	
	独立行政法人通則法に基づき主務大臣による業務実績の評価結果のうち、標準評価以上の評価を受けた項目の割合とする。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合 ※前年度実績は、9月頃(業務実績の確定後)に記載予定	成果実績		%	100	100	100	-	
			目標値		%	100	100	100	-	100
			達成度		%	100	100	100	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	独立行政法人日本スポーツ振興センターの平成29～令和2年度における業務の実績に関する評価									
政策評価、新経済・財政再生計画との 関係	政策評価	政策	11 スポーツの振興							
		施策	11-3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-08.pdf					
	新経済・財政再生 計画改革工程表	取組事項	分野:	-	-					
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-						
		該当箇所	-							

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、JSCが設置するスポーツ医・科学研究施設の整備充実を図るものであり、スポーツ基本計画の「国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備」の中で「スポーツ医・科学、技術開発、情報等による多面的で高度な支援の充実」としてその必要性が明記されており、政策の優先度が高い事業であり、推進する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国際競技力を向上させるためには、スポーツ医・科学研究施設のさらなる充実が必要であり、その施設整備においては国が一定の財政支援を行いながら事業を推進する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	スポーツ基本計画の「国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備」の中で「スポーツ医・科学、技術開発、情報等による多面的で高度な支援の充実」としてその必要性が明記されており、政策の優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	補助金の交付決定に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	支出に当たっては、受益者との負担関係や事業経費の費目・使途の内容を適正にするために精査するなど、その必要性や妥当性について適切な執行に努めた。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	補助事業の実施に直接必要でない経費は補助対象外とするなど単位当たりコスト等の削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	支出に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を適正にするために精査するなど、その必要性や妥当性について適切な執行に努めた。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業経費の費目・使途を厳正に審査した上で交付決定を行うとともに、定期的な進捗確認等を行い、適切な執行かどうかの確認に努めた。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定通りの工事等を進めることができず計画を見直す必要が生じたこと等により繰越し。今年度は、計画的な予算執行ができるよう事業者と状況を確認し合うとともに、工程管理等を適切に行っていく。
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	交付決定及び額の確定手続きの際、厳正に経費の確認を行い、効率化を図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に沿った実績があり、目標に見合ったものといえる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業経費の費目・使途を厳正に審査した上で交付決定を行うとともに、定期的な進捗確認等を行うなど、適切な執行に努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等もあったが、スポーツ庁からJSCへの補助金の交付決定の後、JSCにおいて着実に施設整備が実行されている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業により整備された設備等は、スポーツ医・科学研究の推進等のため、十分に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業は、JSCが設置するスポーツ医・科学研究施設の設備充実を図ることにより、スポーツ医・科学研究の推進等に資することを目的としており、事業目的との妥当性の確認を行ったうえで交付決定を行っている。また、事業年度内においては、定期的に進捗状況の確認を行うなど、計画的な事業執行に努め、額の確定においては、実施経費の費目・使途の内容等の確認を行うことで、適切な執行に努めている。	
	改善の方向性	引き続き補助先への定期的な執行状況の確認を行うなど、適切な事業経費の執行及び事業目的に沿った事業の実施に努める。	

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の
一部改善

この事業は、令和3年度決算において多額の繰越が生じていることから、より詳細な要因を分析したうえで、工程管理等を行いながら、予算執行の適切な改善に努めるべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等
改善

本事業は、我が国の国際競技力向上の中核を担う重要な施設であるハイパフォーマンススポーツセンターの施設設備の老朽化に伴う工事等を行う事業である。令和3年度補正予算の成立が令和3年12月20日であったこと、想定以上に施工箇所が劣化していることが判明し施工方法の見直しを行う必要が生じたこと等の理由により、執行率が低くなってしまった。このため、令和4年度以降については、施工箇所の状態の速やかな把握に努めるようJSC側に指導を行い、予算の計画的な執行に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	393			
平成25年度	356			
平成26年度	349			
平成27年度	341			
平成28年度	321			
平成29年度	330			
平成30年度	新31-0027			
令和元年度	文部科学省 - 新31 - 0020			
令和2年度	文部科学省 0330			
令和3年度	2021 文科 20 0353			

